

キシレン代替溶媒「札幌ヒストソルベント」



「札幌ヒストソルベント」は脂肪族炭化水素系溶媒で**芳香族が一切含まれていません**。
 類似の代替キシレンの中ではキシレンに沸点(約170℃)が近く、従来より乾きが早い製品です。
 自動封入機にも対応しています。現在使われている施設もあります。
 今までの、様々な代替キシレンを研究し追求を行いキシレンを用いた作業に最も適した溶媒です。
 石油精製分野技術者と有機合成化学者の共同で開発されました。
 キシレンの様な強烈な芳香系臭が無く、室内作業に於いても快適性を追求できます。
 なお、非芳香系なため労安法適応外品です。**人間の生殖機能を侵す事はありません。女性則非該当。**
 アルカン系有機溶媒ですので、完全な無毒では在りません。微かな臭気が在ります。
低臭気、安全性(有害物質含まず)、薬剤との相溶性が良い(キシレンと比較して)。
試薬特級のキシレンと価格はほぼ同等。局所排気装置等が必要なく設備維持費が抑えられる。

病理でキシレンが求められているのは
 分子量が大きく、分子同士が水素結合などで親和する溶媒ほど沸点が高くなる。
 類似した化学構造の溶媒同士、極性が近い溶媒同士の相溶性がよい。
 一般的に粘度が低い溶媒ほど拡散しやすい。とされています。

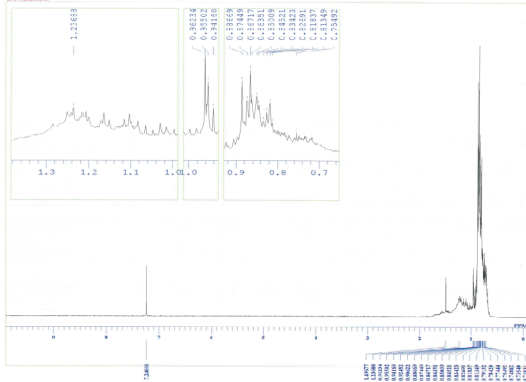


さっぽろエコメンバー登録製品
 エコ製品に登録されている物は本製品だけ

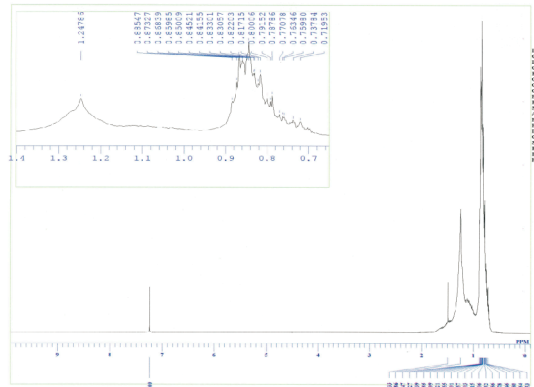
◎弊社製「札幌ヒストソルベント」は
 構造式が C_nH_{2n+2} であり、パラフィンの C_nH_{2n+2} と同等であり、高級アルコールは含まれていません。
 相溶性はキシレン及びIPA、ブタノールとは良く、水溶性溶剤やDMSO、アセトニトリルとは混濁分離します。
 密度はキシレンの0.65~0.81mPa/s(20℃)と「札幌ヒストソルベント」約0.78mPa/s(20℃)と近いです。
 脂肪族炭化水素系溶媒だけが抽出混合され不明なバンドピークが在りません。
 危険物第四類・第二石油類(区分Ⅲ)

代替キシレンのメリットデメリットは、従来より共通されていますが、言えるのは高品質で安価です
 機器メーカーの一部は勧めない所もありますが、検査技師への健康安全性を全く考えていませんので労安規則に
 則った安全をお勧めします。

400MHz Bruker 社製NMRを使って構造解析



弊社品



従来既存同等品

■ 「札幌ヒストソルベント」 (病理検査用) 実用新案出願中

- 用途
 - パラフィン包埋
 - : 脱アルコール剤(中間剤)として
 - ・一般染色(HE、パパニコロウ等)及び特殊染色
 - : 脱パラフィン剤、透徹剤
 - ・免疫染色及びin situハイブリダイゼーション
 - : 脱パラフィン剤として
- 荷姿・容量
 - 一斗缶入り (18リットル)



横置きが出来る
 ペールロックもあると便利

総販売元

安 有限会社川尻工業

理化学技術課 官庁公共システムグループ
 〒003-0835 札幌市白石区北郷5条4丁目10番13号

詳しくはホームページで <http://www.kawajiri-kogyo.jp/>

詳しくは右のQRコードで →

